

〔応募事業名〕

中山間地域の地域包括ケアシステム構築における 食支援連携促進に資するICT利活用に関する調査研究事業

～那賀イ～と、つながる・みまもる Project～

那賀町在宅高齢者の食（イート）
仲（が）良いと、

繋がる

木沢

見守る

鷺敷

相生

木頭

上那賀

【補足資料】

〔事業総括〕

徳島大学大学院医歯薬学研究部
口腔科学部門口腔保健学系
地域医療福祉学分野

白山 靖彦

徳島県那賀郡那賀町の現状

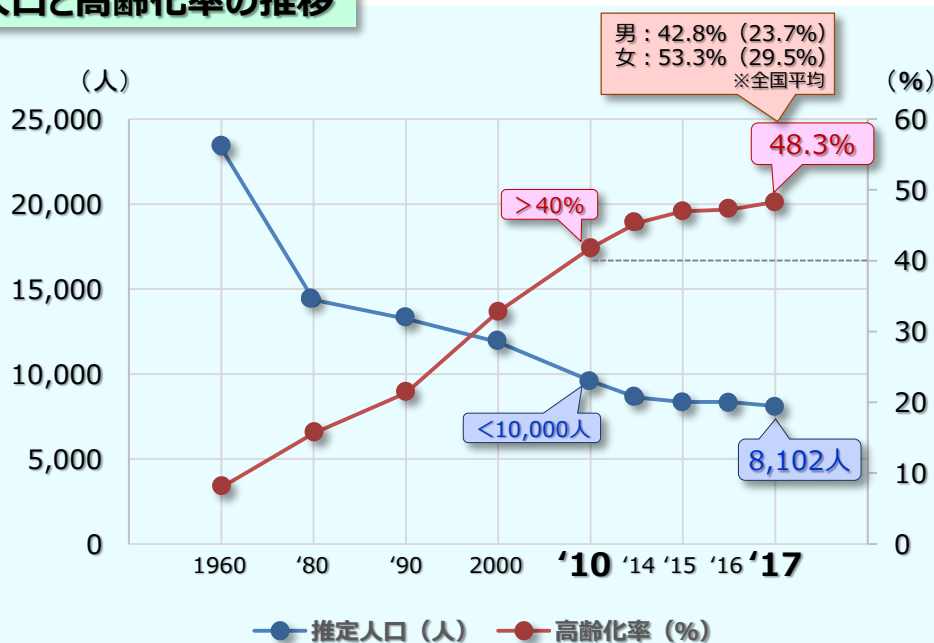
- ・総面積 694.86 km²
- ・林野率 95.2%
- ・可住地面積割合 4.9%

(中) 山間地域



- (5地区)
- ・木頭
 - ・木沢
 - ・上那賀
 - ・相生
 - ・鷺敷

人口と高齢化率の推移



集落数

(2017年 現在)

- ・集落数 : 146
- ・限界集落数 : 81 (集落数の55%)

世帯割合

(2010年 現在)

- ・65歳以上の高齢者のいる世帯割合 : 67.8 %
- ・単独世帯割合 : 26.2 %
- ・高齢者単身者割合 : 16.5 %

1人暮らしの
半数以上が高齢者

過疎地域 (過疎地域自立促進特別措置法[総務省]指定)

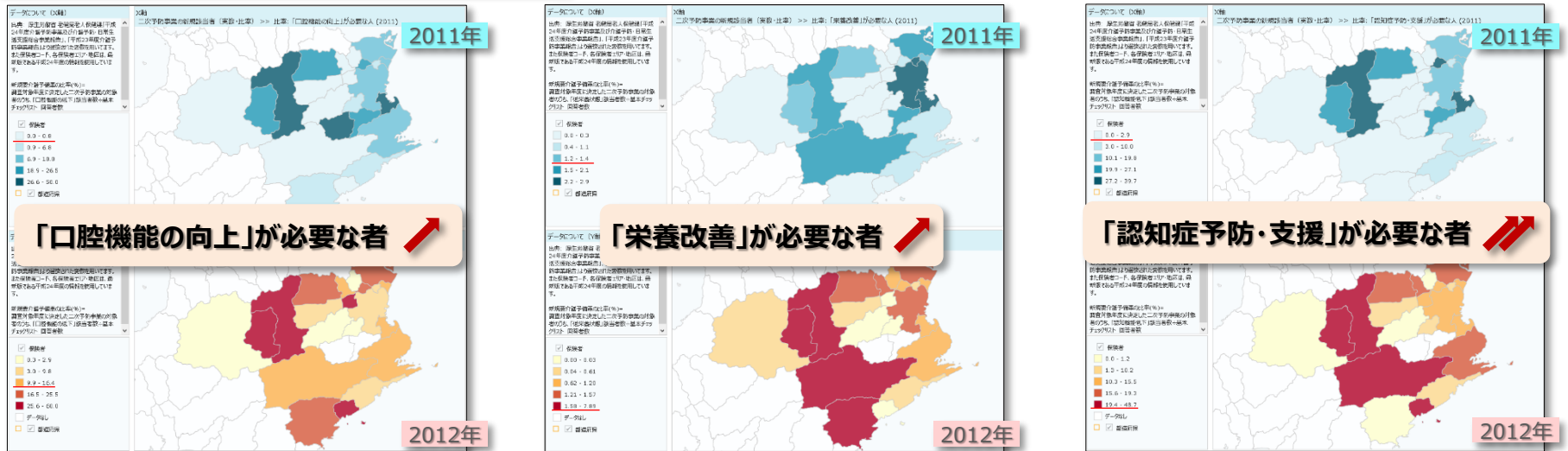
- ・減少し続ける人口と増加し続ける高齢化率
- ・地域社会における活力低下
- ・保健/医療/福祉のサービス確保等の不利
- ・介護保険制度地域支援事業への移行に苦慮

- ・見守りの活動/支援
- ・介護の確保/介護負担軽減への支援
- … の必要性が刻一刻と高まる

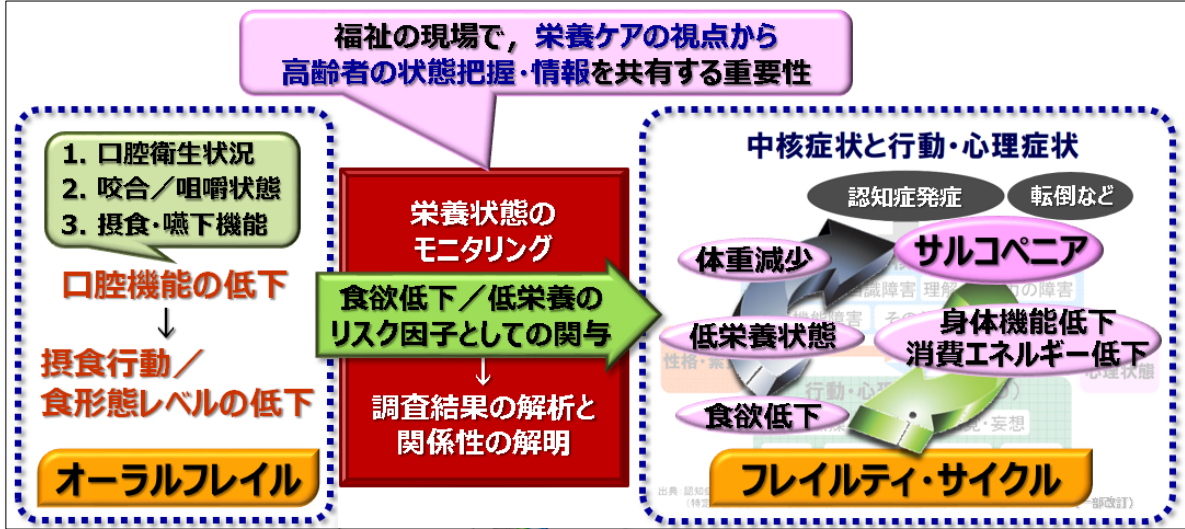
那賀町における地域包括ケアシステム構築に向けての課題

二次予防事業等の新規該当者の各年比率

介護予防アトラス (<http://www.doctoral.co.jp/WebAtlas/201112WebAtlas/top.html>) より
JAGES (日本老年学的評価研究) Project 調査結果の一部を抽出・引用



いずれの項目も、**経年増加**を示す。
↓
誤嚥性肺炎や認知症予防における重要性が、科学的に実証されている**口腔ケア**など**口腔機能向上を含む食支援**の視点から、那賀町の在宅高齢者を支援することが喫緊の課題。
↓
地域包括ケアシステム構築に向けて早急に対策を講じる必要がある。



事業概要

〔事業全体図/スケジュール/事業担当/事業終了後の提言/今後の展望〕

対象：

- ・徳島県那賀町の在宅高齢者/家族
- ・町内支援機関職員/訪問職員
(介護支援専門員など)

システム導入前の
ヒアリング調査

在宅高齢者/介護支援専門員等

H29年
8～9月
新規ICTシステムの仕様策定の根拠情報を収集
するための現地訪問ヒアリング調査

状況調査 在宅高齢者

対象高齢者の身体状況、口腔および栄養状態
に関する情報を収集するための現地訪問調査



11月
口腔ケア研修会

介護支援専門員等

口腔ケア関連スキルをのびのびするための研修会
… 対面形式の講義および相互実習
※採取ブランクの位相差顕微鏡による観察など



12月
講演会

全対象者 (高齢者・職員)

対面あるいはWeb形式の講演会
… 医学、歯学、栄養学の各専門的立場から
全身と口腔および食と栄養の関連性や重要性
の啓発・普及に資する講義



モデル事業

“新規ICTシステム開発・導入” + “SNS連携”構築・運営

H29年 11月～
H30年 1月

那賀町職員/全県の支援体制確立

食習慣/口腔モニタリングシステム
【新規開発・導入】

在宅高齢者による食習慣の登録
(個人端末(スマートフォン)操作)

訪問職員(ケアマネ等)による
口腔アセスメント/入力
(個人端末(スマートフォン)操作)

《SNSグループ》
・那賀町関連職員
・家族
・ToCCS会員

SNS連携

- ① 文書を共有
- ② 専門職からの
フィードバック
- ③ コミュニケーション
情報を共有

みまもる



Web講演会や相互実習、
グループ観察による 支援職員の、
口腔ケアの意識向上/気づき
・経口摂取の重要性認識
・スキルアップへの向上心醸成

システム導入後の
ヒアリング調査

在宅高齢者/介護支援専門員等

導入・運用後の評価情報収集のための現地訪問調査
…仕様改善、追加要望など

柳沢・濱田・尾崎

本事業実施後の提言

本モデル事業 (ICTの利活用) が、対象者となる在宅高齢者や職員に受容されるよう、システムの導入と利用に向けた操作研修の内容や教授方法を工夫することで、要介護者と同様に高齢化が進んでいる職員のICT利活用における年齢的デジタル・ディバイド、ならびにインフラをはじめ中山間地域や離島という地理的特性に起因したICT利活用での不利性、すなわち地理的デジタル・ディバイドの解消や克服に向けた方策を提言する。

本申請で開発する新規システムの概要

“口腔/食習慣モニタリングシステム” + “要援護者台帳システム” + “SNS連携” 構築・運営事業

“食”の視点からの生活支援と介護予防を全県的に支援する体制を構築し、中山間地域の地域包括ケアシステムの構築・推進に繋げる

